



2026年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月6日

上場会社名 株式会社メディカルー光グループ 上場取引所 東  
 コード番号 3353 URL <https://www.m-ikkou.co.jp/>  
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）南野 利久  
 問合せ先責任者（役職名）上席執行役員 財務・IR部長（氏名）小田 恭右（TEL）059（226）1193  
 半期報告書提出予定日 2025年10月14日 配当支払開始予定日 2025年11月5日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年3月1日～2025年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期中間期	26,935	18.8	1,145	△2.8	743	△10.2	880	3.2	666	△6.0
2025年2月期中間期	22,665	29.9	1,180	18.1	828	37.4	853	22.4	709	59.7

（注）包括利益 2026年2月期中間期 703百万円（10.1%） 2025年2月期中間期 638百万円（15.0%）

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期中間期	177.23	—
2025年2月期中間期	188.75	—

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期中間期	37,914	15,275	38.6
2025年2月期	34,231	14,712	41.2

（参考）自己資本 2026年2月期中間期 14,636百万円 2025年2月期 14,097百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	25.00	—	40.00	65.00
2026年2月期	—	60.00	—	—	—
2026年2月期（予想）	—	—	—	60.00	120.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,500	8.5	1,950	15.2	1,900	4.6	1,250	10.3	332.07

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期中間期	3,770,000株	2025年2月期	4,070,000株
② 期末自己株式数	2026年2月期中間期	4,121株	2025年2月期	308,273株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年2月期中間期	3,762,578株	2025年2月期中間期	3,758,850株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結会計期間	7
中間連結包括利益計算書	8
中間連結会計期間	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2025年3月1日~2025年8月31日)における我が国の経済は、米国の関税政策の影響等による不確実性が続くなか、物価高を背景に個人消費は伸び悩み、景気は一時的に足踏みがみられる状況にありました。今後は、米国の関税政策に起因する海外経済の下押し等により、我が国の経済は一時的な減速が見込まれるものの、企業収益は一定水準を維持し、企業の設備投資も持ち直しの動きがみられ、実質賃金は改善していることから、基調としては緩やかな回復傾向が続くとみられております。

こうしたなか、我が国では、2025年に団塊世代の方々全てが75歳以上となり、全人口に占める割合が約17%になると推計されております。さらに2040年には65歳以上の人口が全人口の約35%になると推計されております。この為、医療・介護分野は、今後、一層重要性を増し、国民が安心できる持続可能なサービスの実現が喫緊の課題となっております。

このような環境のもと、当社グループは2025年4月に設立40周年を迎えました。これを機に中期経営計画を策定し、向こう3年間でさらなる成長を加速させるべく、本年度を『Re- Start(再始動)』の初年度と位置付け、患者さま、利用者さまの安全確保と、事業活動の拡充に努めてまいりました。

医薬品卸事業においては、グループの再編と新たなM&Aの推進を継続してまいりました。具体的には、当中間連結会計期間におきまして当社グループの中核子会社である株式会社メディカルー光が、2025年2月期に株式取得いたしました株式会社佐藤薬品販売、株式会社若松薬品、京葉沢井薬品株式会社の3社を吸収合併いたしました。一方、本年5月には、高知県で医薬品卸事業を展開する高知第一薬品株式会社の全株式を取得し、さらに同年7月には、愛知県を地盤とする株式会社サイト薬品も同様に全株式を取得し、当社の連結子会社化(孫会社化)いたしました。

また、ヘルスケア事業においては、本年3月に約6年ぶりとなる新設の有料老人ホームを開設するとともに、同年8月には、茨城県にて介護施設を運営する株式会社サンライズヴィラ土浦の全株式を取得いたしました。このように当社グループは、中期経営計画の初年度として、医薬品卸事業、ヘルスケア事業におきまして事業規模の拡大に向けた先行投資を実施してまいりました。一方、調剤薬局事業におきましては、当中間連結会計期間において、京都府内の2店舗を閉局したことに伴う特別損失を計上しております。

この結果、当中間連結会計期間の当社グループの業績は、売上高26,935百万円(前年同期比18.8%増)、営業利益743百万円(前年同期比10.2%減)、経常利益880百万円(前年同期比3.2%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は666百万円(前年同期比6.0%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (調剤薬局事業)

調剤薬局事業におきましては、当中間連結会計期間の既存店舗の処方箋応需枚数は、前年同期比やや減少しましたが、同売上高は僅かながら増収となりました。また、全店ベースにつきましては、上記の通り、2店舗を閉局したものの、昨年M&Aにより取得した6店舗と新設1店舗が寄与し、処方箋枚数、売上高ともに増加しております。

この結果、売上高13,056百万円(前年同期比9.6%増)、営業利益658百万円(前年同期比19.4%増)となりました。なお、当中間期末における当社グループの調剤薬局は合計98店舗となっております。

#### (ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業におきましては、2025年3月に「ハーモニーハウス桑名」を新設オープンいたしました。居住系介護サービスおよび在宅系介護サービスともに、入居率や稼働率は前年同期比やや改善し、売上高は増収となりました。しかしながら利益面では、新規施設開設に伴う先行コストを34百万円計上したことに加え、M&Aに係る諸費用42百万円、さらには労務費の増加も加わり、営業利益は前年同期を大幅に下回ることとなりました。

この結果、売上高4,381百万円(前年同期比10.6%増)、営業利益14百万円(前年同期比88.9%減)となりました。なお、通期の営業利益につきましては、上記の先行費用等がなくなることから、改善を見込んでおります。

当中間期末における当社グループの介護関連施設および事業所数は、115施設(入居居室数:1,931室)となっております。

#### (医薬品卸事業)

医薬品卸事業におきましては、前年下期に当社グループに新たに加入した3社と当中間連結会計期間に新たに加入した2社が寄与し、売上高は前年同期比大幅に増加しました。

しかしながら、2023年4月から続く原価率の上昇により収益環境は厳しさを増している状況にあります。また、統合費用も先行していることから、利益面では前年同期を下回ることとなりました。

この結果、売上高9,376百万円(前年同期比39.9%増)、営業利益89百万円(前年同期比53.9%減)となりました。(内部売上を含む売上高は9,931百万円となり、前年同期比で39.9%増加しました。)

#### (不動産事業)

不動産事業におきましては、賃貸不動産からの収入によって、売上高120百万円(前年同期比32.7%増)、営業利益75百万円(前年同期比15.3%増)となりました。

また、投資事業におきましては、投資有価証券売却益199百万円を計上しております。

なお、セグメント間の内部売上高として560百万円を消去するとともに、全社における共通経費として93百万円を計上しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は37,914百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,682百万円増加いたしました。

流動資産の合計は20,696百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,731百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が1,830百万円、売掛金が716百万円、商品が153百万円増加したこと等によるものです。固定資産の合計は17,217百万円となり、前連結会計年度末と比較して950百万円増加いたしました。これは主に、建物および構築物(純額)が663百万円、土地が217百万円、有形固定資産のその他(純額)が117百万円増加したこと等によるものです。

負債合計は22,638百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,119百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が1,364百万円、流動負債のその他が706百万円、買掛金が441百万円、固定負債のその他が293百万円、電子記録債務が254百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

純資産合計は15,275百万円となり、前連結会計年度末と比較して563百万円増加いたしました。これは主に、自己株式が524百万円減少し、利益剰余金が23百万円増加したこと等によるものです。

## ② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同現物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して1,484百万円増加し8,123百万円となりました。これは、営業活動によるキャッシュ・フローで1,460百万円増加したこと、投資活動によるキャッシュ・フローで987百万円減少したこと、財務活動によるキャッシュ・フローで1,011百万円増加したことによるものです。

当中間連結会計期間における、各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,460百万円(前年同期比41百万円の減少)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益1,036百万円、減価償却費及びのれん償却額402百万円、仕入債務の増加358百万円、未払費用の増加216百万円があったものの、法人税等の支払482百万円があったこと等によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の支出した資金は、987百万円(前年同期比311百万円の支出増加)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入446百万円があったものの、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,029百万円、有形固定資産の取得による支出271百万円、投資有価証券の取得による支出132百万円があったこと等によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、1,011百万円(前年同期比1,366百万円の収入増加)となりました。これは主に、短期借入金及び長期借入金1,176百万円の純増加があったものの、配当金の支払額150百万円があったこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の業績予想につきましては、2025年4月4日公表の数値から変更はありません。当中間連結会計期間に公表しましたM&A等が業績に与える影響を含め、今後、業績予想の修正が必要と判断した際には、速やかに開示いたします。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,768,998	8,599,566
受取手形	7,439	12,150
売掛金	7,478,539	8,194,576
商品	2,215,859	2,368,895
その他	1,500,685	1,529,974
貸倒引当金	△6,487	△8,338
流動資産合計	17,965,034	20,696,825
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,989,158	6,652,516
土地	3,588,121	3,806,104
その他(純額)	464,734	582,580
有形固定資産合計	10,042,014	11,041,202
無形固定資産		
のれん	816,413	836,960
その他	173,199	175,243
無形固定資産合計	989,612	1,012,204
投資その他の資産		
投資有価証券	2,405,444	2,355,918
敷金及び保証金	1,167,481	1,084,323
その他	1,662,188	1,723,570
投資その他の資産合計	5,235,113	5,163,812
固定資産合計	16,266,740	17,217,219
資産合計	34,231,775	37,914,044
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	6,414	6,370
買掛金	5,440,590	5,882,086
電子記録債務	625,034	879,442
短期借入金	1,180,000	1,130,000
1年内返済予定の長期借入金	2,609,852	2,573,338
未払法人税等	535,143	409,907
賞与引当金	266,885	324,398
その他	1,004,744	1,711,108
流動負債合計	11,668,666	12,916,652
固定負債		
社債	-	150,000
長期借入金	6,052,443	7,416,528
リース債務	175,552	162,656
退職給付に係る負債	1,100,344	1,176,926
その他	522,634	815,965
固定負債合計	7,850,975	9,722,077
負債合計	19,519,641	22,638,729

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	1,085,044	1,064,347
利益剰余金	12,391,773	12,414,837
自己株式	△531,724	△7,129
株主資本合計	13,862,094	14,389,056
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	232,084	245,703
退職給付に係る調整累計額	3,682	1,841
その他の包括利益累計額合計	235,766	247,544
非支配株主持分	614,273	638,714
純資産合計	14,712,134	15,275,315
負債純資産合計	34,231,775	37,914,044

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
売上高	22,665,446	26,935,485
売上原価	19,928,084	23,785,127
売上総利益	2,737,361	3,150,358
販売費及び一般管理費	1,909,045	2,406,736
営業利益	828,316	743,622
営業外収益		
受取利息	2,282	7,267
受取配当金	34,986	47,344
助成金収入	19,157	109,041
その他	22,345	44,237
営業外収益合計	78,772	207,892
営業外費用		
支払利息	26,972	46,227
売買有価証券運用損	7,144	3,816
その他	19,952	20,981
営業外費用合計	54,069	71,025
経常利益	853,019	880,488
特別利益		
固定資産売却益	76,811	4,682
投資有価証券売却益	102,748	199,869
負ののれん発生益	-	41,591
補助金収入	-	35,000
受取和解金	110,000	-
特別利益合計	289,560	281,143
特別損失		
固定資産除却損	1,406	783
固定資産圧縮損	-	35,000
投資有価証券売却損	808	147
役員退職慰労金	-	2,050
賃貸借契約解約損	3,766	87,288
特別損失合計	5,982	125,270
税金等調整前中間純利益	1,136,597	1,036,361
法人税、住民税及び事業税	410,883	382,849
法人税等調整額	△2,198	△37,729
法人税等合計	408,684	345,120
中間純利益	727,912	691,241
非支配株主に帰属する中間純利益	18,408	24,385
親会社株主に帰属する中間純利益	709,504	666,855

## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
中間純利益	727,912	691,241
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△89,522	13,674
退職給付に係る調整額	203	△1,841
その他の包括利益合計	△89,319	11,832
中間包括利益	638,593	703,073
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	620,218	678,633
非支配株主に係る中間包括利益	18,375	24,440

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	1,136,597	1,036,361
減価償却費	295,604	342,801
のれん償却額	56,144	59,460
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,973	40,434
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	29,469	2,454
受取利息及び受取配当金	△37,268	△54,612
支払利息	26,972	46,227
投資有価証券売却損益(△は益)	△101,939	△199,721
固定資産売却損益(△は益)	△76,811	△4,682
固定資産除却損	1,406	783
賃貸借契約解約損	3,766	87,288
負ののれん発生益	-	△41,591
売上債権の増減額(△は増加)	△76,097	△168,413
棚卸資産の増減額(△は増加)	38,998	△45,473
仕入債務の増減額(△は減少)	74,211	358,833
未払費用の増減額(△は減少)	225,778	216,781
その他	248,183	261,502
小計	1,837,043	1,938,435
利息及び配当金の受取額	35,523	53,152
利息の支払額	△27,011	△48,413
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△343,988	△482,946
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,501,567	1,460,227
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△465,027	△271,992
有形固定資産の売却による収入	2,255	6,162
無形固定資産の取得による支出	△22,651	△16,253
投資有価証券の取得による支出	△455,290	△132,694
投資有価証券の売却による収入	470,380	446,355
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△1,029,021
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	153,474	-
貸付けによる支出	△500,000	-
敷金及び保証金の差入による支出	△16,951	△5,515
敷金及び保証金の回収による収入	34,399	60,787
その他	124,007	△45,172
投資活動によるキャッシュ・フロー	△675,404	△987,345
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△215,000	△50,000
長期借入れによる収入	1,200,000	2,560,000
長期借入金の返済による支出	△1,231,970	△1,333,769
リース債務の返済による支出	△13,561	△14,074
自己株式の取得による支出	-	△125
配当金の支払額	△93,953	△150,469
財務活動によるキャッシュ・フロー	△354,484	1,011,562
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	471,677	1,484,444
現金及び現金同等物の期首残高	7,589,368	6,639,453
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	14,380	-
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,075,427	8,123,897

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,911,592	3,962,013	6,701,052	90,787	22,665,446	—	22,665,446
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	300	398,765	2,327	401,393	△401,393	—
計	11,911,592	3,962,313	7,099,818	93,115	23,066,839	△401,393	22,665,446
セグメント利益	551,175	127,634	194,184	65,425	938,420	△110,104	828,316

(注) 1 セグメント利益の調整額△110,104千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用570,504千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当中間連結会計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,056,304	4,381,841	9,376,885	120,455	26,935,485	—	26,935,485
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	300	555,048	5,471	560,819	△560,819	—
計	13,056,304	4,382,141	9,931,933	125,926	27,496,305	△560,819	26,935,485
セグメント利益	658,059	14,162	89,560	75,425	837,208	△93,585	743,622

(注) 1 セグメント利益の調整額△93,585千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用646,558千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。